

水素社会は原子力社会!?

▶水素からみた原発とエコカーの未来◀

2016年 **3月5日** (土) 14:00~17:00 (開場 13:30)

講師 **上岡直見** さん (環境経済研究所・代表)

■文京区 アカデミー文京学習室 (文京シビックセンター 地下1階)

東京メトロ丸ノ内線・南北線 後楽園駅 直結/都営地下鉄三田線・大江戸線 春日駅 直結

■資料代 1000円(学生 500円)定員 60名/市民研HPから、あるいは電話で予約いただくと幸いです

この2年ほどの間に、「水素社会」を目指すという様々な政策や施策を、急に降って湧いたかのようにあちこちで耳にするようになりました。

2014年に華々しくデビューを飾り東京オリンピックに向けての普及が進む燃料電池車、最近の普及が著しい家庭用燃料電池式給湯機のごときは知られてはいるものの、では、そこで使われる水素がどのようにして造られているのかを知る人は、ごく限られていると思われまふ。

水素はありふれたモノであり、簡単に造れるものと思いがちですが、「水素社会」を語るなかでその製法にきちんと言及されることがまず無い、と言っているのです。これはいったい何を意味するのでしょうか？

この講座では、ずっと以前からそのような疑問について様々な考察を重ねてきた上岡さんを招き、「水素社会」を語る者たちの隠された意図は何か、「水素社会」の推進はいったい私たちに何をもたらすのか、を語っていただき、参加者の皆さんと大いに議論を深めたいと思ひます。



上岡さんの最新刊



水素製造は再生エネルギーで?

「エコプロダクツ2015」より



講師紹介：上岡 直見さん

環境経済研究所(技術士事務所)

略歴

1977年 早稲田大学大学院理工学研究科終了

1977～2000年 民間企業に勤務, 化学プラントの設計・安全性評価等に従事 技術士(化学部門)

2013年～ 環境経済研究所代表

2002年～ 法政大学非常勤講師(環境政策)

著書

『地球はクルマに耐えられるか』北斗出版, 2000年

『自動車にいくらかかっているか』コモンズ, 2002年

『脱原発の市民戦略』緑風出版, 2012年

『原発事故 避難計画の検証』合同出版, 2014年

『走る原発 エコカー』コモンズ, 2015年

アカデミー文京 〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-21 文京シビックセンター地下1階



東京メトロ丸ノ内線・南北線 後楽園駅 直結 都営地下鉄三田線・大江戸線 春日駅 直結 JR中央線・総武線 水道橋駅 徒歩約10分

お申込み&お問い合わせは

NPO 法人市民科学研究室 までお願いします

電話：03-5834-8328 FAX：03-5834-8329

メール：renraku@shiminkagaku.org

ホームページ：www.shiminkagaku.org/

市民研
NPO法人 市民科学研究室